

課題名：土地利用型作物の産地強化

【評価できる点】

- ・地域農業の実情を十分に把握しており、課題・支援対象の選定、解決手法、目標設定など、いずれも適切である。
- ・現地研修会などを通じて、自ら栽培技術を高めている農家に驚いている。
- ・西部地区はナスの生産量が拡大しており、良い取り組みである。3普及機関が一体となり、今後も振興して欲しい。
- ・これまでの活動はもとより、残された課題と今後の対応についても明確な方向性が示されている。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

- ・産地全体で出荷量や新規栽培者の平均収量などが伸びているので、概ね事業は順調といえる。残された課題も確実に対応して欲しい。
- ・優良産地になるには、全体の技術レベルの向上を図る事が大事と考える。
- ・露地ナスは栽培マニュアルができており、県全体で技術面、指導面で充実したのが良かった。新規就農者に重点的に指導が出来ている点がよい。

2 活動内容に関すること

- ・生産者が栽培計画を立てる前に、後作物の提案をして欲しい。
- ・施設利用促進よりも、施設の拡充を急いだ方が良いのではないか。今後のパッケージセンターのあり方などJAへの指導をお願いしたい。
- ・出荷量が増えているので一応成果は出ているが、IPMの推進などの成果が見づらい。
- ・JA生産部会の活動として、マリーゴールドの作付けを推進してはどうか。